

# 建設進む 緑川ダムと九州縦貫道



緑川ダム工事現場。手前は県営第一発電所。

も期待をなっているということですが、でも、ダムを作りますと、どうしても水没する地域がでてまいりますけど、今回はどれ位ですか。

☆ 住家が、六十九戸、それから田畑が五十七ヘクタール、山林とか原野が百ヘクタール、それに発電所が二カ所、町道が八キロメートル、そんなものが水没するということですね。これは、非常に地元のご協力を得ましてね。全国でも補償では、優等生だといわれているんですよ。

★ 優等生になるべき条件というのは何だったわけですか。

☆ そうですね。結局、この緑川総合開発ということ地元をよくご理解いただいて、建設に協力するため、関係の方がたが対策委員会を設けるなどして、強力に進めていただいたということですね。

## ★九州縦貫自動車道 着工へ……

★ 地元の協力といいますが、九州縦貫自動車道、これも、たしか工事に踏み切りしたのは、全国でトップですね。でも、トップをきるには、やっぱり、地元の協力がなければこういったこともできないんじゃないでしょうか。

☆ これもそうですね。建設省、道路公団では、全国あっちこちでこういう高速道路とか有料道路などいろんな道路を作っておられますが、熊本県の場合はほかに例をみないほど早く用地買収ができたということですね。

建設省や道路公団の関係者の人達は、びっくりしたり、感謝したりしております。それというのも、地元の方々が、

この縦貫自動車道の必要性をよくご理解いただいて、部落ごとまたは村をあげて、ご協力いただいたたまものだとおっしゃいます。

★ どんな道ができあがるのか、どこからどこまでを、いわゆる九州縦貫自動車道というのか、とにかく興味深深なんですね。

☆ 九州縦貫自動車道ですから名のとおりに九州を縦貫するわけです。

門司からはいりまして北九州市、それから福岡を通りまして、鳥栖、久留米とはいって、熊本県にはいります。南関から熊本、植木を通りまして託麻村、それから熊本、松橋と、八代までいきましてね。八代から球磨川の方にはいり人吉を通ってえびので分かれて宮崎と鹿児島にいきます。

最終的には、宮崎と鹿児島が終点ということになります。

★ 三号線や五十七号線とは全く違いますか。

☆ ええ、違います。いまの三号線、五十七号線、国道に限らず県道にしても、これは自動車だけの道ではなくて、自動車も人も、自転車も馬車もですね。ひどい時には、動物もすべてが通ります。

つまり、混合道路になっているためにスピードが出せません。障害物が多過ぎます。それから町なみがありますね。ついで子供が飛び出してみたりするわけです。それからいまの道路は交差がすべて平面交差ですね。だから、必ず交差点にすれば止まらなくてはならない。当然、スピードが出なくなる。それから幅がありませんね。幅がないため追い越しができない。

そういうことで、スピードを速めるという意味で、自動車専用の道路という

ことになるわけです。従って交通事故も少なくなるわけです。

★ もちろん立体交差ですか。

☆ すべて交差する所は立体です。だから流れが非常にスムーズにいくことになりそうです。

★ 五十七号線や三号線と交わるところがあるでしょうね。

☆ そうです。熊本の場合は南関、菊水、植木、それと託麻といったところにインターチェンジができるわけです。三号線でもいいです、植木にインターチェンジができますね。

そこで、ぐるっと回って三号線から高速道路にはいって行くということになります。五十七号線で行きますと託麻です。

★ じゃ、いわゆる関連道路というのは、三号線、五十七号線もいっしょに、様子を変えていきますね。

☆ そういうことですね、三号線、五十七号線の交通マヒというのも非常に救われてくるでしょう。

それから、そういう意味では、地域がずっと、すべて高速道に関連してしまえば、そういう関連の道路がドンドン開発されていくということがおこってまいります。

★ スピードはどれ位出せますか。

☆ これはね、いまのスピードの倍になりますね。いま、三号線はいきますと熊本から福岡までは、大体、乗用車で二時間半、バスで行きますと三時間位かかっているわけですね。これが一時間で行くことになります。それから北九州まで一時間半、大体、九州各地の主な都市には、一時間で行けるということになります。

★ とこで車線は……  
大体、四車線です。片道二車線す

つで往復四車線になります。福岡のある部分では六車線のところもあります。大体、平均時速が百キロといわれております。

★ とにかく道路というのは、欲しいけれども、それができたらどうなるかということですが。

☆ それはですね。まず自動車専用です。スピード化されるということ、それから交通量がいまの三倍になります。

だから、それだけのものが、沢山運べるということになります。それから、距離的にも、ぐっと短縮される。

例えば、熊本ですね、果樹、みかんとか、海の産物とか、いろいろなものがどどんと九州、大阪方面に短時間で運べるということ、非常に経済効果があります。

また、直接的な経費節約も大きくなります。例えば、いまよりぐんと経費がからなくなりまして、

例えば、自動車の損耗が少ない。タイヤ、チューブの損耗が少ない、車体自体の損耗が少ないというようなこと、また荷物のいたみも少なくなりますね。それから、それらに関連して、副次的な経済効果がでてまいります。

例えば、いままでは、ものを作ってから倉庫にためておかなければならなかった。そういう必要がなくなりますね。

計画的に合理的にものを作ってはタイムリーに送り出しているために倉庫をもつ必要がなくなる。つまり資本の節減というようにも考えられます。

★ 緑川ダムにしても、また、縦貫自動車道にしても、熊本県の建設地図というのは、大きく塗り変えられていくということですね。

☆ どうもありがとうございます。  
（注・五月四日RKK放送「県庁アワー」から再録）